



平成28年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月12日

上場取引所 東

上場会社名 アライドアーキテクト株式会社
 コード番号 6081 URL <http://www.aainc.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 壮秀
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 長井 宏和

TEL 03-6408-2791

四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第2四半期の連結業績(平成28年1月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第2四半期	2,646	158.5	108	—	40	—	33	—
27年12月期第2四半期	1,023	—	△258	—	△258	—	△303	—

(注) 包括利益 28年12月期第2四半期 44百万円 (—%) 27年12月期第2四半期 △304百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第2四半期	7.67	7.11
27年12月期第2四半期	△70.65	—

(注)

- 27年12月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、27年12月期第2四半期の対前年同四半期増減率については、記載していません。
- 27年12月期第2四半期の「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年12月期第2四半期	2,216	1,133	51.1
27年12月期	1,534	1,098	71.6

(参考) 自己資本 28年12月期第2四半期 1,132百万円 27年12月期 1,098百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	—	—	—	—
28年12月期	—	—	—	—	—
28年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年12月期の連結業績予想(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,509	113.2	301	—	224	—	232	—	53.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日(平成28年8月12日)公表いたしました「営業外費用(為替差損)の計上ならびに業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年12月期2Q	4,348,100 株	27年12月期	4,325,900 株
28年12月期2Q	7,800 株	27年12月期	— 株
28年12月期2Q	4,343,004 株	27年12月期2Q	4,297,894 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用情勢や企業収益に改善の兆しが見られているものの、中国や新興国等の景気の減速懸念に加え英国のEU離脱等に伴う海外経済の不確実性の高まりを背景とした急激な円高推移による影響等を受けて、依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが事業を展開するインターネット領域においては、消費者の日常生活においてスマートフォンや多機能端末等が普及し、さまざまなソーシャルメディアの利用時間が増加する中で、企業のマーケティング及び販売促進活動におけるソーシャルメディア活用の重要性は益々高まっております。また、ビッグデータ技術やアドテクノロジーの発展により、消費者にとってより有用性の高いコンテンツや情報提供の可能性が広がり、ソーシャルメディアの活用範囲はさらなる拡大を続けていくと見込まれます。

このような環境において、当社グループでは各種サービスの機能拡充や営業体制の見直しに加え、SNSデータを活用したSNSプロモーションサービスやSNS広告関連サービスのクロスセル等により、顧客企業の総合的なソーシャルメディアマーケティング支援に取り組んでまいりました。

また、シンガポール子会社であるReFUEL4 Pte. LTD. においては、SNS広告クリエイティブ制作プラットフォーム「ReFUEL4」が順調に立ち上がり、グローバルのSNS広告市場の拡大を背景に、順調な成長を続けております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,646,636千円（前年同期比158.5%増）、営業利益は108,195千円（前年同期は営業損失258,179千円）、経常利益は40,180千円（前年同期は経常損失258,694千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は33,335千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失303,658千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて682,453千円増加し、2,216,705千円となりました。これは主に、長期借入れ等により現金及び預金が516,145千円、受取手形及び売掛金が164,555千円それぞれ増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて648,194千円増加し、1,083,506千円となりました。これは主に、買掛金が267,924千円、1年内返済予定の長期借入金が69,984千円、長期借入金が274,184千円それぞれ増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて34,259千円増加し、1,133,199千円となりました。これは主に利益剰余金が33,335千円増加したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ516,145千円増加し、1,173,900千円となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、264,065千円となりました（前年同期は377,628千円の支出）。これは主に、売上債権が197,376千円増加した一方で、税金等調整前四半期純利益40,212千円、仕入債務の増加302,724千円、法人税等の還付額39,085千円等により資金が増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、52,935千円となりました(前年同期は81,276千円の支出)。これは主に、投資有価証券の取得による支出28,832千円、無形固定資産の取得による支出14,032千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により得られた資金は、333,400千円となりました(前年同期は2,700千円の収入)。これは主に、自己株式の取得による支出11,907千円があった一方で、長期借入れによる収入350,000千円等により資金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年2月12日に公表いたしました平成28年12月期の通期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日(平成28年8月12日)付けで別途開示しております「営業外費用(為替差損)の計上ならびに業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	657,754	1,173,900
受取手形及び売掛金	505,619	670,175
仕掛品	1,195	1,925
未収還付法人税等	41,060	—
その他	96,635	107,803
貸倒引当金	△20,046	△17,661
流動資産合計	1,282,219	1,936,142
固定資産		
有形固定資産	67,048	59,926
無形固定資産	8,112	20,050
投資その他の資産		
投資有価証券	101,578	126,107
その他	87,153	83,669
貸倒引当金	△11,860	△9,190
投資その他の資産合計	176,871	200,586
固定資産合計	252,032	280,563
資産合計	1,534,251	2,216,705
負債の部		
流動負債		
買掛金	244,631	512,556
未払法人税等	2,746	10,941
1年内返済予定の長期借入金	—	69,984
ポイント引当金	7,121	7,051
その他	178,310	208,789
流動負債合計	432,809	809,322
固定負債		
繰延税金負債	2,501	—
長期借入金	—	274,184
固定負債合計	2,501	274,184
負債合計	435,311	1,083,506
純資産の部		
株主資本		
資本金	602,697	603,282
資本剰余金	574,697	575,282
利益剰余金	△85,030	△51,695
自己株式	—	△11,824
株主資本合計	1,092,364	1,115,046
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,215	△1,850
為替換算調整勘定	973	19,648
その他の包括利益累計額合計	6,189	17,798
新株予約権	387	355
純資産合計	1,098,940	1,133,199
負債純資産合計	1,534,251	2,216,705

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
売上高	1,023,683	2,646,636
売上原価	505,844	1,947,348
売上総利益	517,839	699,288
販売費及び一般管理費	776,019	591,092
営業利益又は営業損失(△)	△258,179	108,195
営業外収益		
受取利息	130	137
為替差益	1,055	—
還付加算金	—	457
その他	47	519
営業外収益合計	1,234	1,114
営業外費用		
支払利息	90	273
株式交付費	60	30
為替差損	—	65,086
投資事業組合運用損	1,598	3,655
自己株式取得費用	—	83
営業外費用合計	1,749	69,129
経常利益又は経常損失(△)	△258,694	40,180
特別利益		
新株予約権戻入益	10	31
特別利益合計	10	31
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	△258,684	40,212
法人税、住民税及び事業税	1,170	6,876
過年度法人税等戻入額	△2,095	—
法人税等調整額	45,899	—
法人税等合計	44,974	6,876
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△303,658	33,335
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失(△)	△303,658	33,335

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△303,658	33,335
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	864	△7,065
為替換算調整勘定	△1,858	18,675
その他の包括利益合計	△994	11,609
四半期包括利益	△304,652	44,944
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△304,652	44,944

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△258,684	40,212
減価償却費	11,565	10,468
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△142	△5,055
ポイント引当金の増減額(△は減少)	1,213	△70
受取利息	△130	△137
支払利息	90	273
株式交付費	60	30
為替差損益(△は益)	-	35,400
投資事業組合運用損益(△は益)	1,598	3,655
新株予約権戻入益	△10	△31
売上債権の増減額(△は増加)	16,317	△197,376
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,218	△729
前払費用の増減額(△は増加)	△7,211	3,936
仕入債務の増減額(△は減少)	57,575	302,724
未払金の増減額(△は減少)	△46,386	△274
未払費用の増減額(△は減少)	△71,282	6,765
未払消費税等の増減額(△は減少)	△55,788	13,174
その他	5,637	12,339
小計	△344,359	225,304
利息及び配当金の受取額	112	137
利息の支払額	△90	△463
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△33,290	39,085
営業活動によるキャッシュ・フロー	△377,628	264,065
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△59,464	△1,372
無形固定資産の取得による支出	△408	△14,032
投資有価証券の取得による支出	△22,078	△28,832
関係会社株式の取得による支出	-	△8,937
差入保証金の差入による支出	△575	-
貸付金の回収による収入	1,250	240
投資活動によるキャッシュ・フロー	△81,276	△52,935
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	-	350,000
長期借入金の返済による支出	-	△5,832
自己株式の取得による支出	-	△11,907
株式の発行による収入	2,700	1,140
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,700	333,400
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,858	△28,384
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△458,064	516,145
現金及び現金同等物の期首残高	1,313,864	657,754
現金及び現金同等物の四半期末残高	855,800	1,173,900

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループの事業セグメントは、ソーシャルメディアマーケティング支援を主な事業とする単一セグメントであるため、記載を省略しております。